

【表紙】

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2020年6月12日
【四半期会計期間】	第62期第3四半期（自 2020年2月1日 至 2020年4月30日）
【会社名】	株式会社 山王
【英訳名】	SANNO Co.,Ltd.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 三浦 尚
【本店の所在の場所】	横浜市港北区綱島東五丁目8番8号
【電話番号】	(045) 542 - 8241 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 浜口 和雄
【最寄りの連絡場所】	横浜市港北区綱島東五丁目8番8号
【電話番号】	(045) 542 - 8241 (代表)
【事務連絡者氏名】	取締役管理本部長 浜口 和雄
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部【企業情報】

第1【企業の概況】

1【主要な経営指標等の推移】

回次	第61期 第3四半期連結 累計期間	第62期 第3四半期連結 累計期間	第61期
会計期間	自 2018年8月1日 至 2019年4月30日	自 2019年8月1日 至 2020年4月30日	自 2018年8月1日 至 2019年7月31日
売上高 (千円)	5,471,414	5,901,845	7,101,909
経常利益又は経常損失 () (千円)	285,862	86,903	410,431
親会社株主に帰属する 四半期純利益又は親会社株主に帰 属する四半期(当期)純損失 () (千円)	490,235	211,652	625,506
四半期包括利益又は包括利益 (千円)	499,911	135,712	701,907
純資産額 (千円)	4,481,275	4,414,992	4,279,279
総資産額 (千円)	9,444,895	10,067,304	9,307,216
1株当たり四半期純利益又 は1株当たり四半期(当期)純損 失() (円)	106.20	45.85	135.51
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益 (円)	-	-	-
自己資本比率 (%)	47.4	43.9	46.0

回次	第61期 第3四半期連結 会計期間	第62期 第3四半期連結 会計期間
会計期間	自 2019年2月1日 至 2019年4月30日	自 2020年2月1日 至 2020年4月30日
1株当たり四半期純利益又は1株当 たり四半期純損失() (円)	46.27	6.66

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2【事業の内容】

当第3四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

第2【事業の状況】

1【事業等のリスク】

当第3四半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生、または、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

なお、文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 継続企業の前提に関する重要事象等について

当社グループは、前連結会計年度末に国内において営業赤字を計上しており、当第3四半期連結累計期間において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは、「2「経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析」(5)継続企業の前提に関する重要事象等」に記載の通り、当該重要事象等を解消、改善するための対応策を講じることにより、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記を記載しておりません。

2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績の分析

当第3四半期連結累計期間における世界経済におきましては、新型コロナウイルスによる感染症の世界的な拡大に伴い、各国において移動制限等の感染拡大対策が取られていることを受け、企業活動や経済活動への制限を余儀なくされており、急速に経済環境が悪化しております。

わが国経済におきましても、世界経済が急速に減速していることに加え、直近で緊急事態宣言は解除されたものの依然として企業活動の自粛等が続いており、経済活動に制限がかかっていることを受け、急速に景気が悪化しております。

当社グループが属する電子工業界におきましては、自動車・産業機器向け市場については低調な市場環境が続いているものの、次世代通信規格5G向けを中心に通信向け市場では部品需要が拡大しており、当第3四半期連結累計期間においては部品需要は堅調に推移しましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う世界経済悪化により、今後の電子部品需要への影響が懸念される状況にあります。

当第3四半期連結累計期間において当社グループは、前期に決定した施策を推進すべく通信向け分野を中心とした受注拡大のため東北工場に新ラインの建設を行い、積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は5,901百万円（前年同期比7.9%増）、営業利益は138百万円（前年同期は営業損失243百万円）、経常利益は86百万円（前年同期は経常損失285百万円）、また、親会社株主に帰属する四半期純利益は、第2四半期で投資有価証券売却益を計上したこと等から、211百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純損失490百万円）となりました。

なお、セグメント毎の経営成績は次のとおりであります。

日本

当第3四半期連結累計期間は、次世代通信規格5G向けを中心に部品需要が回復基調にある通信向け分野での受注拡大に向け、東北工場に新ラインを建設し積極的な受注活動に努めるとともに、生産拠点の統合の実現に向けた活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は3,994百万円（前年同期比26.9%増）、営業利益は28百万円（前年同期は営業損失506百万円）となりました。

中国

当第3四半期連結累計期間は、米中貿易摩擦による受注低迷に加え、中国政府が実施した環境規制強化に伴う操業制限や新型コロナウイルス感染症対策の操業制限もあったことから、売上高は前年同期に比べ大幅に減少いたしました。

この結果、売上高は994百万円（前年同期比19.7%減）、営業損失は17百万円（前年同期は営業利益89百万円）となりました。

フィリピン

当第3四半期連結累計期間は、前年同期と比較してスポット的受注が減少しており、また車載部品の需要も低迷する中で主材料を中心とした原価改善活動を行ってまいりました。

この結果、売上高は916百万円（前年同期比15.8%減）、営業利益は59百万円（前年同期比40.7%減）となりました。

（２）財政状態の分析

当第３四半期連結会計期間末の総資産は、受取手形及び売掛金が652百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ760百万円増加し10,067百万円となりました（前連結会計年度末は9,307百万円）。

負債は、一年内返済長期借入金が322百万円、長期借入金が259百万円増加したことなどから、前連結会計年度末と比べ624百万円増加し、5,652百万円となりました（前連結会計年度末は5,027百万円）。

また、純資産は利益剰余金が211百万円増加したこと等から、前連結会計年度末と比べ135百万円増加し、4,414百万円となりました（前連結会計年度末は4,279百万円）。

（３）事業上及び財務上の対処すべき課題

当第３四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

（４）研究開発活動

当第３四半期連結累計期間におけるグループ全体の研究開発活動の金額は49百万円であります。なお、当第３四半期連結累計期間において、当社グループの研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

（５）継続企業の前提に関する重要事象等について

「１ 事業等のリスク」に記載の通り、当社グループは、前連結会計年度末に国内において営業赤字を計上しており、当第３四半期連結累計期間において継続企業の前提に重要な疑義を生じさせるような事象又は状況が存在しております。

しかしながら、当社グループは、前連結会計年度において、新製品受注に向けて東北工場に新ラインを建設することに加え、一層の生産性向上・合理化による収益力向上を図るため鈴川工場の生産機能を東北工場に統合するとともに、プレス・めっき一貫生産の強化のため、プレス生産を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定しており、今後上記施策を着実に実行していくことで、当該事象又は状況を解消できると考えております。

また、当社グループは、今後必要な資金について、取引金融機関から支援を引き続き得られる見通しであり資金面で問題ないことから、継続企業の前提に関する重要な不確実性は認められないものと判断しており、継続企業の前提に関する注記を記載しておりません。

3【経営上の重要な契約等】

当第３四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3【提出会社の状況】

1【株式等の状況】

(1)【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	17,600,000
計	17,600,000

【発行済株式】

種類	第3四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年4月30日)	提出日現在発行数(株) (2020年6月12日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	5,000,000	5,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	5,000,000	5,000,000	-	-

(2)【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減(株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年2月1日～ 2020年4月30日	-	5,000,000	-	962,200	-	870,620

(5)【大株主の状況】

当四半期会計期間は第3四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(6)【議決権の状況】

当第3四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」については、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができないことから、直前の基準日(2020年1月31日)に基づく株主名簿による記載をしております。

【発行済株式】

2020年4月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 384,000	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 4,614,500	46,145	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式
単元未満株式	普通株式 1,500	-	同上
発行済株式総数	5,000,000	-	-
総株主の議決権	-	46,145	-

【自己株式等】

2020年4月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義所有 株式数(株)	他人名義所有 株式数(株)	所有株式数の 合計(株)	発行済株式総数に 対する所有株式数 の割合(%)
(株)山王	横浜市港北区綱島東 5丁目8番8号	384,000	-	384,000	7.68
計	-	384,000	-	384,000	7.68

2【役員の状況】

該当事項はありません。

第4【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第3四半期連結会計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年8月1日から2020年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について有限責任 あずさ監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】

(1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,898,708	2,612,974
受取手形及び売掛金	1,670,900	2,323,207
製品	110,131	138,369
原材料及び貯蔵品	1,358,319	1,565,733
その他	205,761	135,053
貸倒引当金	250	250
流動資産合計	6,243,572	6,775,089
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	156,787	154,740
機械装置及び運搬具(純額)	459,159	725,475
土地	1,226,410	1,226,410
リース資産(純額)	150,108	123,077
建設仮勘定	273,683	298,817
その他(純額)	180,487	221,752
有形固定資産合計	2,446,637	2,750,273
無形固定資産	25,673	97,194
投資その他の資産		
投資有価証券	452,007	319,511
その他	139,325	125,236
投資その他の資産合計	591,332	444,747
固定資産合計	3,063,643	3,292,215
資産合計	9,307,216	10,067,304

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	222,283	337,702
短期借入金	1,133,920	1,126,500
1年内返済予定の長期借入金	552,103	874,471
リース債務	45,473	46,662
未払法人税等	9,907	12,143
その他	517,722	528,555
流動負債合計	2,481,410	2,926,035
固定負債		
長期借入金	1,990,387	2,250,067
リース債務	159,301	123,960
退職給付に係る負債	217,419	199,960
繰延税金負債	55,723	29,198
その他	123,694	123,089
固定負債合計	2,546,526	2,726,276
負債合計	5,027,936	5,652,311
純資産の部		
株主資本		
資本金	962,200	962,200
資本剰余金	870,620	870,620
利益剰余金	1,953,097	2,164,750
自己株式	125,103	125,103
株主資本合計	3,660,814	3,872,466
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	116,982	47,730
為替換算調整勘定	503,185	496,386
退職給付に係る調整累計額	1,702	1,590
その他の包括利益累計額合計	618,465	542,525
純資産合計	4,279,279	4,414,992
負債純資産合計	9,307,216	10,067,304

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
売上高	5,471,414	5,901,845
売上原価	4,628,452	4,745,199
売上総利益	842,962	1,156,646
販売費及び一般管理費	1,086,353	1,018,470
営業利益又は営業損失()	243,390	138,176
営業外収益		
受取利息	12,912	14,315
その他	20,265	17,010
営業外収益合計	33,177	31,326
営業外費用		
支払利息	34,155	38,321
その他	41,494	44,276
営業外費用合計	75,649	82,598
経常利益又は経常損失()	285,862	86,903
特別利益		
投資有価証券売却益	-	147,494
特別利益合計	-	147,494
特別損失		
固定資産売却損	611	-
固定資産除却損	32,079	-
減損損失	145,444	-
特別損失合計	178,135	-
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失()	463,998	234,398
法人税、住民税及び事業税	28,191	20,183
法人税等調整額	1,954	2,561
法人税等合計	26,236	22,745
四半期純利益又は四半期純損失()	490,235	211,652
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失()	490,235	211,652

【四半期連結包括利益計算書】
【第3四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
四半期純利益又は四半期純損失()	490,235	211,652
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	45,454	69,252
為替換算調整勘定	35,989	6,799
退職給付に係る調整額	211	111
その他の包括利益合計	9,676	75,940
四半期包括利益	499,911	135,712
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	499,911	135,712

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症(以下、本感染症)の影響に関して、現時点では当社の国内各事業拠点においては、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、平常時と同水準の稼働率を維持しております。

しかしながら、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから当社及び連結子会社は外部の情報源に基づく情報等を踏まえて、今後、2021年7月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、継続企業の前提に関する評価及び固定資産の評価(減損)等の会計上の見積りを行っております。

(四半期連結貸借対照表関係)

コミットメントライン契約

当社は、安定的かつ機動的な資金調達を行うために、株式会社りそな銀行との間で、コミットメントライン契約を締結しております。なお、当第3四半期連結会計期間末において借入は実行しておりません。

	前連結会計年度 (2019年7月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年4月30日)
コミットメントラインの総額	300,000千円	300,000千円
借入実行残高	-	-
差引額	300,000	300,000

(四半期連結損益計算書関係)

減損損失

前第3四半期連結累計期間において、以下の資産グループについて減損損失を計上しております。

会社名	当社	当社	
用途	事業用資産	事業用資産	合計
場所	伊勢原市 鈴川工場	秦野市 秦野工場	減損損失
建物及び構築物	33,516千円	- 千円	33,516千円
機械装置及び運搬具	36,097	-	36,097
土地	63,562	-	63,562
有形固定資産その他	11,663	568	12,231
無形固定資産	36	-	36

当社を取り巻く経営環境は、産業機器・通信向け分野での生産調整の影響により、厳しい経営環境が続いており、このような状況に対応するため、新製品受注に向けて東北工場に新ラインを建設することに加え、一層の生産性向上・合理化による収益力向上を図るため鈴川工場の生産機能を東北工場に統合するとともに、プレス・めっき一貫生産の強化のため、プレス生産を東北工場に集約する生産拠点の再編を決定いたしました。

そのため、鈴川、秦野工場の事業用資産については、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額を減損損失として特別損失に計上しております。

鈴川、秦野工場の固定資産の回収可能価額は、正味売却価額により算定しており、不動産鑑定評価額等に合理的な調整を行って測定しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第3四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第3四半期連結累計期間に係る減価償却費(無形固定資産に係る償却費を含む。)は、次のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
減価償却費	193,853千円	230,840千円

(株主資本等関係)

前第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

1. 配当金支払額

該当事項はありません。

2. 株主資本の金額の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	フィリピン	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,144,189	1,238,102	1,089,122	5,471,414	-	5,471,414
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,430	-	-	3,430	3,430	-
計	3,147,620	1,238,102	1,089,122	5,474,845	3,430	5,471,414
セグメント利益又は損失()	506,454	89,826	100,434	316,192	72,801	243,390

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「日本」において、生産拠点の再編を決定したことに伴い、鈴川、秦野工場の固定資産を回収可能価額まで減額し、減損損失145,444千円を計上しております。

当第3四半期連結累計期間(自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	中国	フィリピン	合計	調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
売上高						
外部顧客への売上高	3,990,599	994,612	916,634	5,901,845	-	5,901,845
セグメント間の内部売上高 又は振替高	3,503	-	-	3,503	3,503	-
計	3,994,102	994,612	916,634	5,905,349	3,503	5,901,845
セグメント利益又は損失()	28,026	17,262	59,592	70,356	67,819	138,176

(注)1. セグメント利益又は損失()の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益又は損失()は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第3四半期連結累計期間 (自 2018年8月1日 至 2019年4月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2019年8月1日 至 2020年4月30日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失()	106円20銭	45円85銭
(算定上の基礎)		
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	490,235	211,652
普通株主に帰属しない金額(千円)	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益又は普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純損失()(千円)	490,235	211,652
普通株式の期中平均株式数(千株)	4,615	4,615

(注) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年6月12日

株式会社山王

取締役会 御中

有限責任 あずさ監査法人

指定有限責任社員 公認会計士 井上 倫哉 印
業務執行社員

指定有限責任社員 公認会計士 中村 大輔 印
業務執行社員

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社山王の2019年8月1日から2020年7月31日までの連結会計年度の第3四半期連結会計期間（2020年2月1日から2020年4月30日まで）及び第3四半期連結累計期間（2019年8月1日から2020年4月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社山王及び連結子会社の2020年4月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第3四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管している。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていない。